



かがやき

西橋北小学校

学校だより

No.5

平成23年5月10日

休み時間になると・・・

45分間の授業時間が終わると、2ヶ所の児童昇降口から、子どもたちが元気よく飛び出てきます。遊具やサッカーゴールめがけて、全速力で駆けていきます。お目当ての場所に早く着かないと・・・という思いが伝わってきます。

グラウンドでは、ドッジボールやサッカー、ハンドベースな



ど、上手に場所を分け合って楽しむことができます。特に話し合っているわけでもなさそうだし、ここらあたりが、西橋北小学校の子どもたちの強みかなと思います。言わなくても分かるというのは、ある面すごいです。これが言えないのであれば、ちょっと手を差し伸べていく必要があります。今は、上手に遊んでいますので、安心です。



ある日、ふとプールの方に目をやると、数人の低学年らしい子どもたちが何か夢中でやっています。運動場の南東の隅で、砂がたくさんたまっている場所です。近くに寄って見てみると、何やら砂をかけて手でぎゅっと握りこんでいます。声をかけてみたら、見せてくれました。なつかしい砂団子です。私も子どものころよく作っていたことを思い出しました。フェンスの下には、みんなで作った砂団子が、それはきれ



いに並べられていました。久しぶりにほのぼのとする場面に出会い、今日もうれしくなりました。



西橋北小学校では、以前から外遊びを重点的に取り組んできているということで、その取り組みがこんな所で子どもの姿として現れてきています。豊かな感性を育む上でも、集団での外遊びはとても有効です。ご家庭におかれましても、自然の素材で遊ぶことを推奨して、手触りや香りなどを感じな

がら、身の周りにあるものの美しさやすばらしさに気づいていくことができたらいいなと思います。

ところで、何といっても子どもの世界のことです。ちょっとしたことで、トラブルが発生してしまうこともあります。でもすごいですね。すぐに解決に向けての話し合いが始まります。自分の思いを出すとともに、相手の思いを受け止め、仲良くしようと努力するすてきな子どもたちです。またまた大好きになりました。



新しい仲間たち ～1年生を迎える会～

4月22日（金）に体育館に新1年生を迎え、全校で初の顔合わせ（1年生を迎える会）を行いました。

一人ずつ紹介され、6年生に手を引かれての入場でした。一人ひとりの好きなものやお気に入り、得意なことなどが披露されるたびに、2年生以上の子どもたちから、「おおー」「へー」などの声が聞こえてきます。みんなしっかり聞いているんだ。うれしいですね。



ステージ前に整列した1年生たちは、声をそろえて「よろしくお願ひします。」と、元気よくあいさつすることができました。行儀もいいし、さっと並ぶことができるし、すばらしい1年生が仲間入りしてくれました。

この後、児童会の進行で、楽しいゲームが始まりました。「ライオン狩に行こうよ」「〇×クイズ」などを行いました。常に1年生を中心に活動するように、気を配ってくれていました。決められた人数にそろうところでも、学年を問わず、すぐに声を掛け合ったり、集まったりすることができ、ここでも子どもたちのつながりの深さを感じることができました。



最後にみんなで歌を歌い、新たな絆を感じて迎える会を終わりました。堂々とした1年生も立派でしたが、エスコートした6年生も、自分たちが西橋北小学校の最上級生であることを改めて感じる事ができたようです。これからの6年生の活躍がますます楽しみになりました。



図書館司書による読み聞かせ

4月25日（月）には、本年度最初の司書による読み聞かせの活動がありました。25分休みになったら、本好きの子どもたちが次々と図書室に集まってきました。

図書館司書の生貝雅子いけがいまさこさんが、子どもたちを前にして、楽しいお話を始めました。すると、それまでおしゃべりに夢中になっていた子どもたちは、すぐに静かになり、一生懸命話を聞くことができました。やはり、子どもは基本的に絵本が好きなんですね。



今日の読み聞かせのテーマは、5月の端午の節句にちなんだ絵本の紹介でした。読み聞かせが始まると、もうすぐお話の世界に引きずり込まれています。目が輝き、食い入るように見つめています。ここにも豊かな感性を育むためのすばらしい素材があるなあと改めて感じました。

